

学術情報の発信に関するアンケート調査(集計)

2004.12.20現在 回答 508(人) うち教員466(人)/2142(人) 回収率22%
この集計は助手以上の教員466の回答を元に集計しています。

[設問1]

作成または作成に携わった電子的な学術情報をお持ちですか？公開状況は？
(複数回答可)

データ形式 (複数回答)

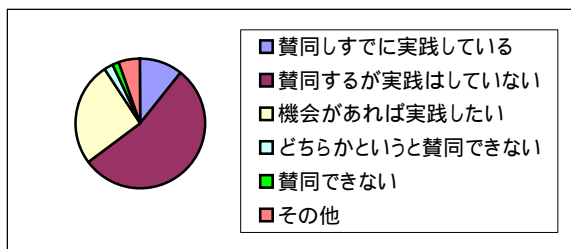
	北大のweb 上から公開	外部のサイ トから公開	公開してい ない	合計
商業誌・学会誌に掲載された論文	37	172	92	301
紀要等学内雑誌に掲載された論文	31	20	101	152
学会等発表論文・プレプリント	40	59	133	232
学位論文	14	10	144	168
ソフトウェア	10	5	99	114
教材(電子教材等)	40	8	107	155
データ集	14	11	106	131
その他	14	8	32	54
持っていない	-	-	-	130

	回答数	回答/336
PDF	258	76.8%
HTML	94	28.0%
XML	2	0.6%
text	57	17.0%
GIF,JPEG,TIFF,PNG	40	11.9%
TeX,LaTeX	24	7.1%
MS Word	95	28.3%
MS Excel	31	9.2%
MS Power Point	76	22.6%
その他	24	7.1%

[設問2]

「オープンアクセス」の考え方についてどう思われますか？

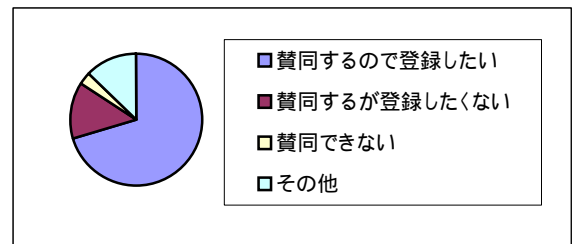
	回答数	回答率
賛同しすでに実践している	51	10.9%
賛同するが実践はしていない	250	53.6%
機会があれば実践したい	122	26.2%
どちらかという賛同できない	11	2.4%
賛同できない	8	1.7%
その他	24	5.2%



[設問3]

学術機関リポジトリが構築された場合、ご自身の学術情報を登録して情報発信することについてどう思われますか？

	回答数	回答率
賛同するので登録したい	328	70.4%
賛同するが登録したくない	64	13.7%
賛同できない	15	3.2%
その他	59	12.7%



[設問4-1]

設問3で「賛同するので登録したい」と答えた方、理由は何ですか？
(複数回答可)

	回答数	回答率
研究成果等をより多くの人に公開できるから	301	91.8%
研究・教育資源の共有化に有効だから	201	61.3%
可視性が上がり論文等の被引用率が高くなる	166	50.6%
研究成果等を永続的に保存できるから	95	29.0%
大学の知名度や評価を上げることができるから	67	20.4%
オープンアクセス運動に賛同しているから	60	18.3%
大学による統一的な発信体制の確立が必要	58	17.7%
その他	5	1.5%

[設問4-2]

設問3で「登録したくない」「賛同できない」と答えた方、理由は何ですか？(複数回答可)

	回答数	回答率
著作権上の問題が心配	52	65.8%
登録作業が面倒だと思う	50	63.3%
学術雑誌に発表すれば十分だから	44	55.7%
学術機関リポジトリに関する情報が不足	40	50.6%
利用者による悪用が心配	38	48.1%
何を登録すればよいかわからない	13	16.5%
その他	15	19.0%

[設問5]

green publisher (ポストプリント(査読済み論文)をセルフアーカイビングすることを認めている出版社)に論文を発表したことがありますか？

	回答数	回答率
発表したことがある	269	57.7%
発表したことがない	152	32.6%
分からない	45	9.7%

発表したことがある出版社トップ10	回答数
Elsevier	222
Blackwell	85
Kluwer	54
John Wiley & Sons	35
American Institute of Physics	29
Royal Society	24
Nature Publishing Group	19
Institute of Physics	18
American Physical Society	16
IEEE	16

(複数回答可)